

# 情報弱者のテレビ放送へのアクセスを保障する 安心安全のための放送・通信インフラ普及・実証事業 株式会社アステム(大阪府)

## エクアドル国の開発ニーズ

- 火山、地震、津波等の災害多発国であり、自然災害への脆弱性克服が安定的な国家運営における最大の課題の一つ。
- 憲法で保障している緊急警報放送を含む国民生活に欠かせない重要な情報源であるテレビ放送の情報弱者へのアクセスの実現。
- 地上デジタル放送の難視聴地域への放送配信の実現によるアナログ放送の早期停波。

## 普及・実証事業の内容

- 実証活動の実施を通じた提案製品の(技術・コスト面の)導入効果の実証:
  - サーバ・パッケージ及びアイ・ドラゴン搭載テレビ受像機の導入。
  - アクセシビリティサポートセンター(NAC)による多言語字幕を主とする補完情報の制作と配信。
  - 補完情報の受信体験会の実施。
  - フィードバック収集とそれに基づく現地適合理化。
- IPTVのアクセシビリティに関する国際標準規格の法制化を含む政策検討のためのワークショップ実施及び対応策の検討。
- 普及展開案策定及び普及セミナー開催。

## 提案企業の技術・製品



第三者が制作した字幕や手話がサーバを通じてテレビでカスタマイズ表示可能(位置、大きさ、背景色等)

### 製品・技術名

ーH.702準拠IPTV 配信サーバ・パッケージ

ーアイ・ドラゴン搭載テレビ受像機

### 事業概要

相手国実施機関:  
国家障害者審議会(CONADIS)  
通信・情報社会省(MINTEL)

事業期間:  
2019年11月～2023年2月

事業サイト:マンタ市、キト市、グアヤキル市

## エクアドル国側に見込まれる成果

- 提案製品を用いた字幕サービス提供の仕組みの構築及びその有用性の実証。
- テレビ放送へのアクセスの格差是正と、補完情報の提供による災害時を含む安心安全の向上の必要性について、相手国実施機関の理解向上と法制化を含めた対応策の明確化。
- エクアドル全土における、テレビの字幕等による補完情報の認知度の向上とその普及に向けた事業展開計画の策定。

## 日本企業側の成果

### 現状

- テレビ局が番組に字幕や手話、音声解説などの補完情報を付与できない場合に、第三者が補完情報を配信し、視聴者のテレビ画面上に重ねて表示させるシステムを開発し、日本でサービスを提供。(国際電気通信連合(ITU)によるIPTVのアクセシビリティに関する国際標準規格(H.702)制定の根拠となったサービス)

### 今後

- エクアドル政府およびステークホルダーとの協力、現地のニーズに適合化した提案製品の利用による、字幕・手話・音声解説といった補完情報を持続的に配信するショーケースの構築及びグローバルな市場開拓計画の策定。